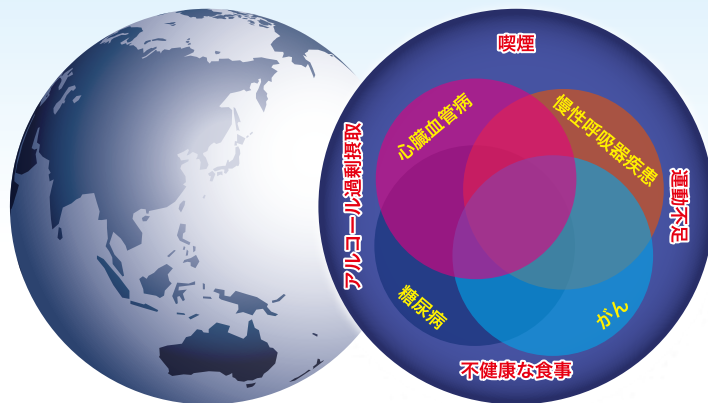


(世界保健機関(WHO)提唱、世界心臓連合(WHF)共催)

非感染性疾患(NCDs)シンポジウム2012

心臓血管病(心臓病・脳卒中)、癌、肺疾患、糖尿病の予防、治療の未来



エヌ シー ディー NCDsとは

心筋梗塞や脳卒中などの心臓血管病、がん、肺疾患、糖尿病などを総称してNCDs (Non-Communicable Diseases, 非感染性疾患)と呼びます。



日時: 2012年9月30日(日) 13:00▶17:50 (開場12:30)

会場: 京都大学芝蘭会館 稲盛ホール

開会の辞 13:00-13:05

河合 忠一 氏 (京都大学名誉教授、世界心臓連合(WHF)元理事長)

特別講演 座長 細田 磋一 氏 ((財)日本心臓血管研究振興会理事長) 13:05-13:35

シドニー スミス 氏 (世界心臓連合(WHF)理事長)

「The Global Burden of CVD :
A Challenge to the World Heart Federation and United Nations」

基調講演 座長 篠山 重威 氏 (京都大学名誉教授、同志社大学生命医科学部教授) 13:35-14:00

山口 武典 氏 (国立循環器病研究センター名誉総長、財団法人循環器病研究振興財団理事長)

「脳卒中は防げる、治せる」

第1部 NCDsと治療 14:00-15:15

座長 和泉 徹 氏 (北里大学医学部循環器内科学名誉教授)

北風 政史 氏 (国立循環器病研究センター心臓内科学部長)

講演1 松森 昭 氏 (アジア太平洋心臓病学会理事長、NPO-APSC理事長)

「NCDsと炎症」

講演2 陳 和夫 氏 (京都大学呼吸管理睡眠制御学講座特定教授)

「睡眠呼吸障害、睡眠時間と非感染性疾患(NCDs)」

講演3 富樫 かおり 氏 (京都大学放射線医学講座教授)

「がんと画像診断」

講演4 上島 弘嗣 氏 (滋賀医科大学生活習慣病予防センター教授)

「生活習慣の改善による脳卒中・心筋梗塞の予防」

講演5 淀井 淳司 氏 (京都大学名誉教授、NPO-JBPA理事長)

「循環器疾患ストレスシグナルのレドックス制御」

休憩 15:15-15:30

第2部 NCDsと医薬・診断 15:30-17:00

座長 牧野 圭祐 氏 (京都大学名誉教授、京都大学副理事、京都大学産官学連携本部長)

村田 一夫 氏 (アジア太平洋心臓病学会財務理事、京都大学産官学連携本部フェロー)

講演6 坂田 恒昭 氏 (塩野義製薬 Global Development Office イノベーションデザイン部門長)

「オープンイノベーションによる日本発新薬の創製を目指して」

講演7 木村 徹 氏 (大日本住友製薬 事業戦略部長)

「NCDsをめぐる当社の戦略」

講演8 木曾 誠一 氏 (三菱ケミカルHD執行役員 ヘルスケアソリューション室長)

「ヘルスケアにおけるトータルソリューションの提案」

講演9 西河 芳樹 氏 (日本ベーリンガーインゲルハイム採取総務 神戸医薬研究所長)

「バイオ医薬品の受託製造について:
ベーリンガーインゲルハイム社の事業紹介と次世代抗体医薬の開発動向」

講演10 澤井 健造 氏 (沢井製薬 取締役 戦略企画部長)

「NCDsにおける後発医薬品の現状と展望」

講演11 浅野 薫 氏 (シスメックス 執行役員 研究開発企画本部長)

「個別化医療の実現に向けて:検査・診断からのアプローチ」

総合討論 17:05-17:45

座長 河合 忠一 氏、松森 昭 氏

パネリスト 淀井 淳司、陳 和夫、富樫 かおり、上島 弘嗣、
西河 芳樹、坂田 恒昭、木曾 誠一 (敬称略)

閉会の辞 17:45-17:50

松森 昭 氏

懇親会 18:00-19:30

山之内ホール

連絡先

NPO法人アジア太平洋心臓病学会事務局 〒606-0805 京都市左京区下鴨森本町15 TEL/FAX:075-744-0007 E-mail:secretariat@npo-apscc.jp

お申込み方法

締切日:9月20日 必着

参加希望の方は、下記内容をご記入の上、上記NPO法人アジア太平洋心臓病学会事務局まで、ハガキ、FAXまたはEメールにてお申し込み下さい。
定員になり次第、締め切らせていただきますので、あらかじめご了承ください(定員230名、先着順)。

①住所 ②氏名 ③会社名・部署 ④電話番号 ⑤FAX番号 ⑥Eメールアドレス ⑦懇親会参加の有無(会費5,000円)

主催: NPO法人アジア太平洋心臓病学会
共催: 世界心臓連合、アジア太平洋心臓病学会、ワールド・ハート・デー連絡協議会
協賛: 沢井製薬株式会社、日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社、シスメックス株式会社
(予定) 田辺三菱製薬株式会社、ロシュダイアグノスティクス株式会社、大日本住友製薬株式会社
第一三共株式会社、帝国製薬株式会社、株式会社ロックフィールド
大阪バイオメディカル専門学校 ほか

